

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

リーグ中盤戦の勝ち越しを目指す!!
いよいよ来週から W 杯が開幕!!

リーグ戦は悪戦苦闘中… 昇格どころか降格のピンチ!!

“K’s Football style” 原点は、トレーニングも走りも量をこなす!!

6月になりました、先月末は真夏日が続き子どもたちも暑さに馴れず多少夏バテ気味のものもいました。今年の夏も猛暑の予報が出ています。サッカー部では普段から栄養講習会やトレーナーの方のもと熱中症対策を子どもたちが主体的にできるように指導をしていただいております。本格的な夏を迎える前に、体が暑熱に馴れるように準備をしていきたいと思っております。

さて、いよいよ来週から開幕する第23回FIFAワールドカップ(北中米カリブ大会)が迫ってきました。グループリーグFの日本の初戦は15日にオランダ(世界7位)と対戦します。いきなり、優勝候補との闘いですが、前回はドイツ・スペインを撃破しただけに、今回も「歴代最強の日本代表」と言われているだけに期待はできます。四年に一度の睡眠不足の日々がやってきます。



🌐 ワールドカップで優勝を目指す!! 🌐

ユースリーグは三鷹中等教育に敗れイーブンに…

ユースリーグ第四戦 VS 三鷹中等教育が片倉高校グラウンドで行われました。インターハイ予選を挟んで中断していたリーグ中盤戦の初戦は昇格を占う大切なゲームでしたが、前半、相手カウンターから二本取られ0-2でリードを許すと、後半もリズムこそ掴むもののゴールを奪えずに時間が経過。終わってみると2-5で敗れ、リーグ戦は2勝2敗となり昇格どころか降格のピンチも出てきました。ここからの残りゲームは昨年の上位チームとの厳しい闘いとなりますが、“K’s Football style”の原点に戻り、トレーニングも走る量もどこのチームにも負けないくらい積み重ねていきたいと思っております。



🌐 苦しい時こそ対話が大切である 🌐

新チームとなり、新人戦こそは関東大会に出場した大成高校に敗れはしたものの、最後まで粘り強く善戦することができ今後の可能性を感じることができましたが、新年度になりインターハイ予選とユースリーグでは思いの外結果が振るわずにここまでチームは悪戦苦闘しています。期待の新たな戦力の一年生がチームにフィットするまでにはもう少し時間が掛かりそうですが、夏までには必ず戦力にして、新人戦時よりいいチームに仕上げていきたいと思っております。ここまで先輩たちが築き上げてきた伝統を維持しながら結果も出せるようにチーム一丸となるいいチャンスでもあります。“K’s Football style”はここからです。見ていてください!!

「futbol y vida(サッカーを通して人生を学ぶ)」 教育とは時間の掛かるものです。

ここ数年、コロナ禍の影響で部活動の制限・規制を皮切りに私学の無償化による公立高校の部員減少傾向や格差など部活を取り巻く環境がターニングポイントを迎えています。正直、この二年は本気でやりたい子どもたちは私学に流れています。都立の強豪校も一部を除き部員が減少しています。それでも、公式戦では私学の強豪校とも同じ土俵の上で闘わなくてはなりません。普通の高校生がトーナメントを勝ち上がるためには百倍も千倍もそして何万倍もトレーニングしなくてはなりません。そして同様に、部活動は学校教育の一環であるので子どもたちの人間教育も必須です。そのためにはいつも傍で見ていてタイムリーに叱咤激励することが必要だと思っています。その両輪を大きくして前進していくのですから必然的に時間は掛かりますが、片倉高校サッカー部にはその環境が何処よりも整っています。教育というのは時間が掛かるのです。

「量より質」という人もいますが、それは正直楽をしたい人か本気で上を目指したことの無い人の戯言だと思っています。例えばスポーツの世界でイチロー選手、大谷翔平選手、本田圭佑選手、長友佑都選手、石川祐希選手など世界でも成功した選手たちは異口同音に「若いうちは質より量、練習をたくさんやるのが大切」と言っています。マルコム・グラッドウェル氏の著書の中で紹介されている「10000時間の法則」という有名な考え方があります。これはある分野で一流になるためには一万時間の練習が必要であると語っています。「量」をたくさんこなすからこそ「質」を語れる。「質」を求める前に「量」をこなさなければ話にならない。「量」をこなしていく中、つまり、単なる反復練習ではなく、試行錯誤の連続の中で自分なりの工夫が生まれ、改善点や修正点が見え、それを膨大に積み重ねることで「質」が高まっていくのだと。「量」をこなす中で学ぶことに意味があると考えています。

「下手だからこそ」「上手く行かないからこそ」「若いからこそ」量をこなして継続していけば「質」は後からついてくると思います。「量(練習)は裏切りません！」

「futbol y vida(サッカーを通して人生を学ぶ)」

片倉高校サッカー部のメインテーマは「サッカーは人作り」。**K's football style** で時間を掛けて丹精に育てています。学校生活、取り分け部活動は社会の縮図ともいえます。今の時代だからこそ、この厳しい中に身を置くことで社会人になっても適応できる力を身に付けさせます。高校三年間を片倉高校で我武者羅にサッカー一途に懸ける「**志が高く、意志の強い**」集団に育てていきます。



⊕ 半端ない苦楽を共にしたからこそ分かり合える仲間 ⊕

<After the Game>

6月になりました。台風6号の影響が心配ではありましたが、昨日関東地方を通過し明日の体育祭は無事に実施できそうです。例年通り体育祭では麦わら帽子の一团が黒子となって働き、全体を縁の下で支えられるように頑張らせたいと思います。

さて、先週末から49期生11名が教育実習に来ています。その中で、サッカー部OBの**西野竜生**(駿河台大4年)が、体育科実習生として三週間お世話になっています。早速、授業を行いました。サッカーのようには上手いかわからないようで、担当教員からはダメ出しをされ苦しんでいます。現在、本人は、反省を活かし大学四年間の中で猛烈に勉強しているようです。三週間はしっかり揉まれて少しでも成長して大学へ戻って欲しいものです。



⊕ 悪戦苦闘中の西野竜生 三週間お世話になります ⊕